

平成24年3月期 第1四半期 決算説明会Q&A

Q: Q1の営業利益が期初計画に対して大きく増加した要因は。

A: 当初計画から増加した受注が利益率の高い製品であり、プロダクトミックスによる改善が要因に挙げられる。

Q: 大手端末ベンダーから製造用ビジネスの受注を獲得した背景について教えてほしい。

A: 従来から開発向けのソリューションで高い評価を頂いており、製造用に多様な通信方式に対応した計測ソリューションやサポート体制の提案など、これまでの継続的な取組みを評価頂いたと考えている。

Q: 計測事業が下期減収・減益の見通しになる理由は。

A: 上期はクリスマス商戦を背景としたスマートフォン需要の拡大に伴う端末ベンダー・EMSの積極投資や、LTE開発関連の需要が想定以上に増大した。下期はTier1ベンダーの継続的な投資は想定しておらず、通常の水準のビジネス規模に戻ると見ている。

Q: 計測事業の業績上方修正の要因はモバイルのみなのか、他のサブセグメントも見通しを上方に見ているのか。

A: モバイルセグメントが全体を押し上げているが、汎用計測を含めて他のセグメントも増加要因となっている。

Q: スマートフォンなど多様な機器でWifiの活用が増えているが、計測のビジネスチャンスについて教えてほしい。

A: 当社は携帯電話（セルラー）関連だけでなく、WifiやBluetoothなどノンセルラー向けのソリューションも提供している。無線通信方式の多様化は、当社にとって新たなビジネス機会になると考えている。

Q: 想定為替レートと業績へのインパクトはどのくらいなのか教えてほしい。

A: ・想定レートは、1ドル=80円。
・為替変動による営業利益へのインパクトは、1円変動に対し1億円。

Q: キャッシュが積み上がっている状況で、SBや長期借入金の償還についての考え方を教えてほしい。

A: 現段階では多様な資金調達手段を維持したいと考えている。